

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年9月6日(2018.9.6)

【公開番号】特開2018-111722(P2018-111722A)

【公開日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-027

【出願番号】特願2018-74932(P2018-74932)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/28 (2015.01)

C 1 2 N 5/0775 (2010.01)

A 6 1 K 35/30 (2015.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 L 27/38 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/28

C 1 2 N 5/0775

A 6 1 K 35/30

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 43/00 1 0 7

A 6 1 P 25/28

A 6 1 L 27/38 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月1日(2018.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生体の間葉系組織又は培養間葉系細胞から分離された S S E A - 3 陽性の多能性幹細胞を有効成分として含む、脳梗塞を治療するための細胞製剤であって、

ここで、前記多能性幹細胞は、以下：

(i) C D 1 0 5 陽性；

(i i) テロメララーゼ活性が低いか又は無い；

(i i i) 三胚葉のいずれかの胚葉に分化する能力を持つ；

(i v) 腫瘍性増殖を示さない；及び

(v) セルフリニューアル能を持つ

の全ての性質を有し、

ここで、前記脳梗塞の治療が、脳血栓症及び脳塞栓症の治療、梗塞巣の進展の抑制、脳梗塞に伴う機能障害若しくは自覚症状の改善、慢性期の精神症状若しくはけいれん発作の発現の抑制、脳梗塞の再発予防、又は脳梗塞体積の縮小である、上記細胞製剤。

【請求項 2】

脳梗塞後の後遺症を予防及び／又は治療するための、請求項 1 に記載の細胞製剤。

【請求項 3】

脳梗塞後の後遺症が、言語障害、感覚障害、運動障害、麻痺、頭痛、嘔吐、視覚障害、嚥下障害、構音障害、又は認知症である、請求項 2 に記載の細胞製剤。

【請求項 4】

外部ストレス刺激により S S E A - 3 陽性の多能性幹細胞が濃縮された細胞画分を含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 5】

前記多能性幹細胞が、C D 1 1 7 陰性及び C D 1 4 6 陰性である、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 6】

前記多能性幹細胞が、C D 1 1 7 陰性、C D 1 4 6 陰性、N G 2 陰性、C D 3 4 陰性、v W F 陰性、及び C D 2 7 1 陰性である、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 7】

前記多能性幹細胞が、C D 3 4 陰性、C D 1 1 7 陰性、C D 1 4 6 陰性、C D 2 7 1 陰性、N G 2 陰性、v W F 陰性、S o x 1 0 陰性、S n a i 1 陰性、S l u g 陰性、T y r p 1 陰性、及び D c t 陰性である、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。

【請求項 8】

前記多能性幹細胞が、神経細胞、グリア細胞、血管内皮細胞、及び／又はミクログリアからなる群から選択される 1 つ以上の細胞に分化する能力を有する、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の細胞製剤。